


性 隷 少 女

緊縛編



Faker




碓くんごめんなさい
巻き込んでしまったって……

ううん僕は大丈夫だけど
綾波はあの人と知り合いなの？

……何度か会ったことがあるだけ

そうなんだ……



レイちゃんごめんね
レイちゃんが彼氏と歩いてるの見かけて
羨ましくなっちゃって

僕は彼氏とかそういうんじゃない……

ちよつとっ
何ですかこれ

うん君はコレを着けて
大人しくしててね

碇くん大丈夫だから
言う通りにしてれば
すぐ済むわ

綾波……

さあレイちゃんは
おじさんと遊ぼうか

くうっ

バサッ

綾波？
どうしたの？

大丈夫
何でもないから……

えっ 綾波
手……

お願いこのまま……

彼氏とはいつも何をして遊んでるんだい？

んっ

そんなにしっかりと手なんか繋いで

グニッ

これももう彼氏の物なのかい？

くうっ

おじさん
妬けちゃうなあ

あっあのっ
もう僕達を帰らせてくれませんか？

彼氏はああ言ってるけど
レイちゃんはどうかかな？

碓くん大丈夫だから
もう少し待ってて…

ほらレイちゃんは
おじさんともっと
遊びたいんだってさ

こっちも彼氏のために
準備してたのかな？
それとも…

綾波がそう言うなら…

ビクッ

ピクッ

スリ

スリ



レイちゃんは
 これが大好きなんだよねえ

はあっ

あっ

綾波？

な何の音？

ビクッ

ビクッ

ズズ

グッ

クッ

クッ

さあ今日は
どっちにしようかな
レイちゃんが決めていいよ

くううう

はうっ

一体何を...

ほら早く決めないと
いつまでもこのままだよ

...ま前にして

ニムル
ニムル
グ
ニムル
ニムル

ヒッ

彼氏にやらせるつもりで
ノーパンだったんだろ？

ヒッ

ち
違
う
…

彼氏のが入る前に
俺の精子で満たしてやる

う
う
っ

綾波…？

く
う
っ

俺の精子にまみれた
彼氏のちんぽで楽しみな

ズ
グ
ッ

ズ
グ
ッ

グ
ッ
ッ

グ
ッ
ッ



んっ

んんんっ

んんんっ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ

まだ物足りないが
あとは彼氏に任せるか

ヒモ解いてやるから
もう帰っていいぞ

綾波
大丈夫なの……？

綾波？

END



では私から……

あっ

はあっ

片足を高く吊り上げられ
局部を晒す形で拘束されたレイ
周りを取り囲む男達の
視線が突き刺さる



あっ

ふふこの華奢な身体
堪らん

ああっ

はあっ

レイは生活を保証される代わりに
こうして定期的に呼び出され
不自由な夜を過ごさなければ
ならなかった

ズ
ズ

グ
グ

ズ
ズ



こういうのも
好きなんだろう？

おお
いい締めまりだ

ぐっ

ギュッ

グブツ

ズクン

うんうん

このまま
出すからな

ヌクン

グッ

グッ



ひぐっ

おおこれは
きつい尻だ

ほうれ
奥まで入れるぞ

うううう

くふう

ブル

ブル

ズヌヌヌ

男達は入れ替わり立ち代わり
レイに肉棒を突き入れ
大量の精を注ぎ込んだ



休むこと無く
男達に犯され
閉じなくなった
レイの肉穴



ちよつと一服の間に

男達は酒や煙草を手に
その姿を遠巻きに眺める

ダンスでも見せて
もらおうか



あああつ

あああああつ


ビクッ

ビクッ

ブブブブ...

どんな責めを受けようとも
男達の欲望に応える
そこにしかレイの生きる道は無い

END



いつも同じ電車で
見かける彼女
なんて可愛い子なんだと
気にはなっていたが
混み合う車内気付くと
目の前に彼女が

身体が触れ合う距離で
彼女から漂ってくる
なんとも言えない
良い香りに思わず
手を伸ばしてしまった

大変な事をしてしまった
小さく吐息をこぼす彼女
私の腕を払いのけようと
彼女の華奢な手が
私に触れる

くっ
くっ

んっ

布越しに手に伝わる
彼女の尻肉の柔らかかさ
ああもっと触れたい
彼女の抵抗が弱いのを
いいことに
私は彼女のスカートを
めくり上げる



直に触れた彼女の尻は
しっとりとしていた
スカートを捲り上げられ
恥ずかしいのだろう
彼女は小さな声を上げる

いゃっ

くうっ

なんと柔らかかな尻肉
くにゅくにゅと手に吸い付くように
形を変えるその肉を
私は夢中になって揉みしだく
だがそこで気がついた
彼女は下着を着けていない？



ひうっ

んんっ

恐る恐る彼女の股間に
手を這わせる
指先にヌルっとした
熱いものが触れる
触った瞬間彼女が小さな
悲鳴を上げた

間違いない
でもなぜ下着を着けずに……
私の指がヌルヌルになるほど
濡れた彼女の股間
まさかこういう事態を
想定して？

クキッ

クキッ



私はイチモツを取り出し
 彼女の股間に滑り込ませる
 ヌメった性器と柔らかかな
 太ももに挟まれ
 さらに興奮は高まっていく

んっ

うっ

はうっ

アッ
 アッ
 ヌッ

ニッ
 ニッ

アッ
 アッ

「入れてもいい？」
 いいよね？」
 彼女は否定も肯定もせず
 黙って俯いている
 私は彼女の足を開かせると
 腰を押し当てた



彼女の後ろに立っていた男が
 異変に気が付き振り向く
 男は私と彼女を眺めると
 ニヤリと笑った



彼女が小さな悲鳴を上げ
 ビクンと身体を硬直させる
 後ろの男が彼女の肛門に
 指を入れたのだ
 彼女の膣壁越しに私のイチモツにも
 男の乱暴な指の動きが伝わる



後ろの男は入念に彼女の
肛門を弄った後
固くいきり立った剛直を
彼女の尻に突き立てた

ううっ

ぐううううっ

あぐうっ

彼女はうめき声を上げ
私にしがみつく
ゴリゴリとした感触が彼女の
中を行き来する度に彼女の膣が
ぎゅうぎゅうと締め付けてくる

ズ
グ
グ

ズ
グ
グ

ズ
グ
グ

ヌ
ヌ
ヌ



あまりの快感に頭が真っ白になりそうだった
腰がガクガクと震える
私は彼女の中に射精していた

あっ

はっ

あああっ

ぐんぐん

ぐんぐん

ぐんぐん

後ろの男も彼女に腰を押し付け
痙攣している
彼女は荒い息を吐きぐったりとして
私にもたれかかっている
そんな彼女を見ていると
まだ彼女に刺さったままの肉棒が
再び固くなるのを感じた

END

今日はまだおしっこしてないじゃないか

人目も無いしここでしていいぞ

...まだ大丈夫です

そうか? また我慢してるんだろ





ああすまんすまん
先にこっちだったな

グ
イ
ツ

モ
ロ
ツ

ビ
ク
ツ

ああっ

ダ
メ
ツ

抜かないで





んはあああああ

あつ

はあああ……

まったく世話のかかる……
この栓を入れておかないと
垂れ流しだからな

ズ
ニ
ン

ブル

カ
ホ
ニ
ン

ブル





おっと
ははっすごい勢いだな

ぐううんっ

うっ

うっ
うっ
うっ



はあ

はあ

ほら見ろ
やっぱり溜まってたじゃないか
これからは我慢せずにするんだぞ

ははい
申し訳ありません……



ほら
しっぽを戻すぞ

ズググググ

うあああつ

こんなに汚して…
どうするんだこれ

私が

処理します…

END



うっくっ

出るっ

日課となった放課後の性処理係
クラブ活動と偽り空き教室に集まった
男子達は机に突っ伏し尻を突き出した
レイを思い思いに犯していく

くっ

んんっ

今日集まった男子は5人
それぞれが抵抗しないレイの
膣や肛門にありったけの精液を
流し込んだ

もうドロドロじゃねえか
おれここに突っ込むの嫌だぜ

じゃあお前が
掃除してやれよ

フル

フル

掃除って言ったって
・・・あそうだ

ふう

ふう

ああなんかそんなの
見たことあるな

ほらこうして
ホウキに雑巾を巻き付けて……

こうして突っ込んで
こすれば……

ははっ
いいなそれ

ズゴッ

きゃあああ

中に溜まったザーメン
拭き取れるんじゃないか？

はっ

いやあああ

あつやべつ
ケツに雑巾全部
入っちゃった

なんだよ
掃除じゃなくて
ゴミ詰めただけじゃねえか

どうやって取ろうか

しょうがねえなあ

これで引っ張り出すしかないだろ

グ

ほおら綾波
お前の大好きなフイストだぞ

いや

だめ……

さて雑巾は
どこかな？

これか？

んん？
どれが雑巾だ？

ズグ

グ
チュ

グ
グ
グ



うっあああ...

綾波ってすごいんだな...

なんだお前こういうの
見るの初めてか？
あとでもっとすごい
見せてやるよ

んはっあああ



何よこれ
いつの間にこんな...





アンタねえ……
なんでいっつも縛るのよ

これの使い方
知りたいって言ってたから

そんなのもういいから
早く解きなさいよっ



終わったら
解くわ

ああっ
ちよっとう

アリンク

何してるのよっ



これくらいなら
楽に入るわね

うあああつ

お尻がっ

ギョ
フツ

コボッ

ビクッ

…便秘なの？
詰まってるのがすぐそこに
見えるわ

あつ

あああつ



碇くんを呼んでくるわ

はあ？
何言ってるのよ

そんなの絶対……
ねえっちよっとな

ピク
ンツ

ク
ンツ

ピク

嘘でしょ？
本当にシンジを連れてくるわけ……



綾波どこまで行くの？

もう少しだから

アイツほんとに連れてきたの？
何考えてんのよ！

プル

プル

碇くん
ここに立って

うん
目隠しも取っついていい？

それはまだダメ

目隠し？
なんだそれなら……
ってそれでもこんなお尻丸出しで
シンジに……



碇くんこれを持って

これは？なんだろう
パイプ？

ガク

くうう
緊張でおかしくなりそう
これ以上何する気なのよお

ガク

ねえ綾波
なんか変な匂いがするんだけど

そう？
そうね少し臭うかも

匂いって…
シンジに嗅がれちゃってるの？
ああもういやあ

じゃあ碇くん
手をここに

あ綾波手が…

?
手がどうかした?

何イチャついてるのよっ
人の気も知らないでっ

ううんっ
何でもないよ
こここでいいかな?

そうそのまま下げて…

ひっ
何っ?
お尻に何か入ってきたあっ

ググ

んっあれなんか固いのがあって
これ以上動かないみたいだけど

ひいひいっ
く苦し
それ以上は無理だからあ

ググ

ググ

碇くんあまり横には揺すらないで
真っ直ぐ力を入れれば
入っていくはず

あほんとだ
ちよつとずつだけど動くね
真っ直ぐこう捻った方が
いいのかなあ

いやあああああ

あれ？
もう進まない？

あぐっ

ブ
ッ
ッ

ビ
ッ
ッ

ブ
ッ
ッ

あ
ぐ
っ

ええそこまででいいわ
ありがとう碇くん
じゃあ戻りましょうか

えっ綾波
目隠しは？

それはそのまま

ええ〜何があったのか
見たいよ〜

ふふっまた今度ね

あれ綾波
今笑った？



お待ちさせて
ごめんなさい

アンタねえ
こんなことして
タダで済むと思わないでよ

まだ終わりじゃないの

えっ

じゃあ始めるわね

ブウン

便秘みたいだから
出させてあげようと思って

はあっ

グボッ

グウン

フッ

ドッ

うあああああ

すごいお腹
もう抜いてもよさそうね





きゃあああ

ブズッ

いやあああ

また溜まったら言ってね
今度は碇くんと一緒に...

END



さあ今日も
始めるぞ

…はい
お願いします

んっ

自分で開いて
よく見せなさい

はい



ほらお前のために
新しいデイルドを
用意してやったぞ

海外から輸入した
特別製だ
部費は使えないから
オレの自腹だぞ

……ありがとうございます

今日からコレで
訓練するからな
さあもつと
アナルを開きなさい

くうっ

はい……



それで精一杯か？

ははいっ

くっ

ブル

カ

ブル

ういっ

ア

ブス

くっ

よしじゃあ入れるからな
力を抜いて...



まだ先端が入った
だけだぞ
力を抜いて
受け入れなさい

うああああっ

あっ

はああっ

ははははっ

実物はこんなに
優しくしてくれないぞ



はあああつ

んおっ

ガク

ジジ

グ
ギ
ギ

おはあああつ

ガク

ようやく
半分と行ったところか

これから毎日
特訓だな



一週間後……

ぐっ

うっ

ブル

うっ

ズ
ズ
ズ

ブル

あ……

ありがとうございます

とうとうここまで
入るようになったか
よく頑張ったな



見事な尻穴だ
どうやらお披露目には
間に合ったようだな

ここまで拡げておけば
怪我をすることも
無いだろう

はあ

はあ

…はい

知り合いの牧場に
とびっきりのやつを
用意してもらったからな

いよいよ本物の
相手をしてもらうぞ
楽しみだろ？



それではシンクロ実験を
始めます

はい

新しいスーツの
具合はどうかしら？

別に問題無いけど
薄すぎない？これ

LCIと皮膚の関係を
見る実験でもあるから
我慢して

分かったわ



どう？ 見えてるかしら
LCLを部分的に制御
出来るようになったの

あっ

じく
ツ

なにこれっ
気持ち悪いっ

ギ
ギ

スーツを開かせてもらうわよ
安心してシンジくんには
下は見えてないから

アスカ……

綾波？



ギ
ギ

いやあっ
バカじゃないのっ

じく
ー



さあ次よ
 LCLとあなた達の
 精神をシンクロさせます

あつ

はあつ

いやあ
 変なの押し付けないでえ

シンジ



うわあ
 なんだこれ

シンジにも何か
 してるの？

ビュッ

クッ

グ

ビュッ

グ

グ
 グ
 グ



その触手はシンジくんの意識が形になったものよ
シンジくんにはあなた達の感触が伝わっているの

あうっ

うあっあっ
なにこの感じ

はああっ

あああっ
入ってきたあっ

待って
これがシンジのモノって
ことなの？

ふふあなた達にはシンジくんのサイズじゃ物足りないかしら？
シンクロ率を上げてみましょう

ズ
ズル

ズ
ズ

ズ
ズ
グ
グ



はあっ

はあっ

シンクロ率30%



ぐっ

碇くん……

そんなこと
言っただって……



くうう
太い

あなた達も受け入れる
努力をなさい
そうすれば実験も早く
終わるわ



まだいけるわね
50%まで上げて





シンクロ率70%
触手先端子宮及び
結腸内に侵入

きゃああつ

あつ

はああつ

欲望の具現化
想像以上ね

LC L内に異物発生
触手が変質していきまます

ああつ

うああつ

バカシンジッ
いい加減にしなさいよつ

こんなの
もう持たないわよ



物質そのものまで
変化させるなんて…
このままでは危険ね

ぐっ

ううううっ

うあっ

ああああっ

アスカッ

綾波いっ

いやああああ

もう入ってこないでえ

実験中止よ
急いでっ

ダメですっ
初号機からの信号
遮断出来ませんっ

触手さらに数を
増していきます

END



ライトアップされた
ステージの上
全身を縛られたレイは
宙吊りにされ
不安な表情を浮かべる

2人の男がレイに近寄り
何やら作業を始める

男達は手にしたデイルドに
チューブから絞り出した
クリーム状のものを塗りつけていく



男達は手にしたディルドを
レイの膣と肛門に挿入し
ゆっくりと出し入れさせる

くふう

うううう

ゆっくりとした動きで
大量にクリームを塗られた
ディルドは奥深くまで入り込む

グ
ー
グ

ヌ
ヌ
ヌ

次第にレイの股間が
充血したように
赤く染まっていく

グ
グ



男達はデイルドを抜くと
レイから離れていった

はああっ

あっ

デイルドの刺激が無くなった
レイの股間にピリピリとした
感覚が走る

らやっ

あああっ

ク
ク
ネ

レイの表情が変わり
全身に汗が噴き出す
くねくねと腰を振り始めるレイ

さらに赤みを増すレイの股間
クリトリスは大きく膨らみ
小陰唇も厚ぼったく腫れ
広がっていく

ク
ク
ネ

パ
ク
パ
ク

ディルドに塗られたのは
猛烈な痒みを起こす薬

きゃああつ

うああつ

かつ

かゆい

あああつ

ガク

プ
チ
ユ

ム
ム
ム

それを敏感な粘膜に
大量に塗り込まれたレイは
大声を上げ身体をくねらす

股間の穴から溢れ出る
粘液を飛び散らせ
レイは腰を振った
だが痒みはどんどん強くなる

ガク

暴れ狂うレイのもとに
男達が戻ってくる

はああっ

入れてっ

それっ

あっ

あああっ

その手には禍々しい形をした
ディルドが握られていた

巨大なデイルドが
レイの穴に容赦無く
ねじ込まれる

あつ

はあ
あ

ああああ

ゴ
ゴ

デイルドが粘膜をこすると
痒みがスウッと引いていく
レイは痒みから開放されたことに
体を震わせ悦びの声を上げる

一旦治まったように感じた痒みだが
デイルドで粘膜を傷つけられた
ことで薬はより染み込み
ピストンされるごとと強烈な搔痒感と
快感が交互に押し寄せる

んおおおお

おっ

ほおおおっ

感情を処理しきれなくなり
半狂乱になって暴れるレイ

返しのついたデイルドによる
激しいピストンにレイの肉穴は
内壁を引きずり出され
グロテスクに変化していく

レイを完全には壊さないよう
薬の効果は極短時間で
切れるよう調整されていた

激しい責めの反動で
股間の感覚を失っているレイは

子宮や腸が飛び出して
いることにも
気づかずステージ上で
その姿を
晒し続けた

あとがき

毎度ありがとうございます、kenyです。

予定していたロリモノが描けず
またもや綾波さんの出番となってしまいました。

描きたいと思っていたラフを
いくつか完成させられたのは良かったですが
時間が足りず
想定より少ない枚数で仕上げてしまったのが
心残りです。

次回以降、時間配分に気をつけて
挽回していこうと思います。

綾波さんのネタはまだまだありますが
次こそはオリジナルネタでと考えてます。

まだ明確なイメージは無いですが
キャラはあまり掘り下げず
いろんな女の子の陵辱シーンを
まとめる、といった感じで
初心に帰って描いてみます。

それではまた次回お会いしましょう。

2018年9月吉日

性隷少女シリーズ 作品紹介



どんな命令にでも従ってしまう少女、綾波レイ。
そんな彼女を利用し、群がる男達。
学校編から始まった「性隷少女」三部作。
三編で一本のストーリーを語る都合上
話が進むほどにプレイがハードになってます。



三部作では描ききれなかった
レイの生活を追った「番外編」。
学校や街、さらには地下ショーのステージで
より激しく責められていくレイ。
野外露出、強制脱糞、性器拡張、連続種付けと
変態プレイも多数収録。



Faker初の3DCG作品となった「凌辱レッスン」
性隷少女の基本設定を引き継ぎ
新たにシンジとアスカをメインキャラに加え
ダンススタジオを舞台に激しく責め抜きます。
アニメーション動画も収録。



どんな命令にでも従ってしまう少女、レイ。
そんな彼女の噂は次第に広まり、飢えた男達が隙を見ては襲いかかってくる。
公園や路地裏、人目がある所構わず嬲りものにされる日々。
性行為だけに留まらず、異物挿入や排泄強要など
屋外での行為にスポットを当てた「性隷少女」シリーズ外伝。



レイと共に最悪の状況に巻き込まれてしまったアスカ。
実験という名目で体内を覗かれ、穴という穴を犯される。
さらには命令を受けたレイの手がアスカの身体を侵していく。
その他、学校や病院、バイト先など11のシーンを収録。



どんな命令にも逆らえない少女、レイ。
そんな彼女を性の捌け口として利用する男達。
放課後の教室で、休み時間のトイレで
自らの部屋で、休み無く犯され精を注がれる。
レイと共に男達の的となったアスカを加え
二人に対して行われる暴力的な凌辱を
12のシーンで綴るCGイラスト集。



どんな命令にも逆らえない少女、レイ。
そんな彼女を弄び、群がって次々と精を流し込む男達。
過激さを増す責めに泣き叫びながらも
抵抗できず受け入れてしまう少女の日常を
12のシーンで綴ったCGイラスト集。
今回はpixivやブログで頂いたリクエストを元に
描かせて頂きました。
いつも以上に変態的なシーン満載です。

各作品、DLsite.comやDMM.comで
ダウンロード版を販売中です。

今回もおまけを用意しました。
希望される方はメールの件名を「縛り希望」として
感想やリクエスト等、一言を添えて
下記メールアドレスまでお送り下さい。
折り返しおまけをお贈りします。

奥付

性隷少女 緊縛編

発行日 2018年9月28日

サークル Faker

著者 ken

ホームページ Faker4 <http://faker.saiin.net/>

メール faker@shirayuki.saiin.net

Twitter @faker_ken